

国立大学等施設緊急整備5か年計画

～世界水準の教育研究成果の確保を目指して～

【第2期科学技術基本計画】

平成13年3月30日閣議決定

国立大学等の施設整備について、最重要課題として位置付け、科学技術振興のための基盤整備として重点的に取り組む。

【国立大学等施設の課題】

国立大学等施設においては、経年による老朽化や機能劣化、大学院学生等の飛躍的な増加等による狭隘化が進むなど、その対応が喫緊の課題。

今後整備が必要な面積
約1,100万m²

【国立大学等施設緊急整備5か年計画】

1. 優先的目標 約210万m²

(1)大学院施設の狭隘解消等 (約120万m²)

総合研究棟を新增築し、若手研究者の育成や、独創的・先端的な学術研究を推進

(2)卓越した研究拠点等 (約40万m²)

世界水準の学術研究拠点の形成及び地域連携や国際学術交流の推進

(3)先端医療に対応した大学附属病院 (約50万m²)

高度先進医療や地域の中核的医療機関として一層貢献

2. 老朽化した施設の改善 約390万m²

高機能の教育研究スペースに再生し、弾力的施設利用による教育研究の活性化を推進

所要経費 最大約1兆6,000億円

重点的整備

システム改革

調査・評価
対象施設の厳選

教育研究の活性化

独創的・先端的な学術研究

産業界への成果の還元

豊かな科学技術創造立国国民生活の着実な実現

創造性豊かな人材育成
社会が求める高度な能力を備えた人材の供給